

令和6年度紀の川市立名手小学校スクールプラン

紀の川市教育のテーマ（生涯共育）

- ～とも（共）に育み生涯学ぼう～
- 子供たちが学び合う
- 教師が学びを創る
- 家庭・地域が学びを支える
- 紀の川市が学びを応援する

【学 校 教 育 目 標】

豊かな心を持ち、自ら学び、
自らを高めながらたくましく生きる児童の育成

【めざす児童像】

- ねばり強く考える子
- やさしく思いやりをもってともに伸びようとする子
- 強い心と体を持った子

前年度の学校評価

- ・道徳教育の推進、凡事の徹底、自己肯定感・自己有用感の高揚を図る。
- ・より有効なICTの活用を推進するとともに、わかる授業の取組を行う。
- ・家庭学習や読書への習慣づけの手立てを行う。
- ・保護者との信頼関係に努める。

児童の実態

- ・子供らしさをもった児童が多く、活動的である。
- ・コロナ禍の影響を受け、集団で行動することや、しっかり声を出して学習活動する等の経験が不足している。

保護者や地域、教職員の願い

- ・学習習慣を身につけ、基礎・基本を確実に習得し、お互い学び合って学力を高めてほしい。
- ・明るく活発な雰囲気大切に、思いやりの心をもった言動ができるようになってほしい。
- ・規範意識をもち、あきらめず頑張る気持ちを大切にしてほしい。
- ・学校や地域に誇りをもってほしい。

研究主題 ～できた喜びを感じられる、協働的な学びのある授業を目指して～

重点目標

【豊かな心の育成】

- ◎学習規律の強化
- ・道徳性の育成
- ・支持的風土のある集団づくり

【確かな学力の向上】

- ◎探求的な学習や体験活動を通じ他者と協働しながら学びを深める
- ・主体的・対話的学習の推進

【健やかな体の育成】

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ・生活安全・交通安全・防災安全意識の強化
- ・外遊びの重視
- ・体力向上の推進

【信頼される学校】

- ◎家庭・地域との連携
- ・保育園・中学校との連携
- ・地域の資源の活用推進
- ・統合に向けて、近隣校と交流

具体的な取組

- ・道徳の授業を要とした全教育活動で道徳教育を推進し、児童一人一人に「思いやりの心」を育てる。
- ・凡事（挨拶・返事・掃除の時間・授業中の姿勢等）の徹底を図る。
- ・自己肯定感・自己有用感の高揚を図る。

- ・一人1台タブレット及び電子黒板をより有効活用する。
- ・漢字・計算等基礎学力の習得を徹底する。
- ・自分の思いや考えを自分の言葉で表現し、伝える力を育てる。
- ・家庭学習や読書の習慣づけに取り組む。

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、家庭と連携して基本的な生活習慣の確立に努める。
- ・スマホやネット利用についての理解を深め、健康な心と体を育む。
- ・登下校指導や避難訓練を通して、危機回避能力を育成する。
- ・基礎体力の向上に向け、朝のトレーニングを充実する。

- ・学年通信・学校便り・HPで積極的に学校の情報を発信する。
- ・一人一人の保護者との信頼関係に努める。
- ・育友会・共育コミュニティ活動を通して保護者・地域との連携や学びの充実を図る。

指標

- ・挨拶・返事・掃除の時間・授業中の姿勢等の徹底
(児童・教師80～90%)
- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)

- ・県学習到達度調査で、県平均に達成
- ・わかる授業・考えを伝え合う授業
(児童・教師80%)

- ・きのくにチャレンジランキングに全クラス参加
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」
(児童80～90%)
- ・スマートフォン・ゲーム等のネット利用の約束を守る(児童80～90%)

- ・学校の様子を発信
(教職員80～90%)
- ・HPでの情報発信
(教職員80～90%)

◎：特に重点的に取り組むこと